

バッタとあそぼう

9月12日(土) 13:00~14:30 ★ 参加人数 子ども 9名、大人 7名 ★

1. お話し

講師 ビオトープ・ネットワーク中部 宇野先生

- バッタの種類ごとの特徴、見分け方、生息数や卵の数、飼育方法について
- カマキリの種類ごとの特徴、見分け方、生息数や卵の数、飼育方法について
- バッタやカマキリの飼育方法



3. 参加者の声

- 白いトノサマバッタがいることを知った。
- カマキリの卵の数がこんなに多いとは思わなかった。
- 色々な虫が見られて嬉しかった。
- バッタのことがよく分かった。
- バッタにも多くの種類がいることや見分け方を学び、家の周りにもいる虫も観察したいと思った。
- 絶滅危惧種が多いこと、生息数や卵の数を知ることができた。
- 普段見られない翅の中を見たり、鳴き声を聞けたりして面白かった。
- トノサマバッタ、クルマバッタ、クルマバッタモドキなど、一見そっくりなバッタたちも、実物をじっくり見比べると「翅（はね）の色が全然違うことが分かりました。
- オオカマキリの黒い翅を見て「強そう！」と思った。
- エンマコオロギの鳴き声がきれいだった。

2. 体験 触れ合いと持ち帰り飼育

体験：参加者全員でバッタ類の正しい持ち方を実践。コオロギなどの昆虫に直接触れ合った。

様子：最初は緊張していた参加者も、全員が上手にバッタを持てるようになった。エンマコオロギの頭に触れて「ツルツルしている！」と感心する姿も見られた。

持ち帰り飼育：希望者にはバッタやカマキリを持ち帰り、自宅での継続的な飼育・観察体験へとつなげた。

